

## 第四編 飽田・託麻の村

## 第一章 郡と手永

## 第一節 飽田・託麻郡

史料番号	表題	日付	頁
609	寛永十一年肥後国郷帳(抄)	寛永拾壹年十一月八日	3
610	正保三年肥後国郷帳(抄)	正保三年六月二日	8
611	寛文四年肥後国郷帳(抄)	寛文四年甲辰四月八日	18
612	元禄十四年肥後国郷帳(抄)	元禄十四辛巳年八月	30
613	天保五年肥後国郷帳(抄)	天保五年甲午十二月	37
614	御国中本高・新地惣高帳(抄)	慶安四年九月廿八日	42
615	肥後国高・人畜・家数・船数しらべ(抄)	(年月日欠)	44
616	肥後国諸郡高・人畜・浦々船数其外品々有物帳(抄)	元禄七申戌十一月	53
617	飽田・託麻郡男女・牛馬・竈数の覚	文化五年	61
618	飽田・託麻郡手鑑	(年月日欠)	63
619	諸郡御用米銭取締りについで	(文政九年)六月	73

## 第二節 手永の機構と会所役人

史料番号	表題	日付	頁
620	田迎手永会所の職務分担	天保九年戌八月	75
621	在御家人の職務分担	天保十一年子三月	79
622	手永会所からの達物日限	(年月日欠)	84
623	五町手永の諸産物	文化五年六月	86
624	田迎手永会所の米銭・出銀・出人馬・当毛荒高などの覚	天保二年十一月	94
625	銭塘手永村々盛衰の覚	嘉永三年二月	96
626	本庄手永村々御百姓竈数のしらべ	安政二～万延元年	101
627	池田手永会所御用銭等のしらべ	文政十三年九月	108
628	横手手永村々請出銀の覚	天保二年十一月	110
629	銭塘手永会所官銭・米穀等のしらべ	天保二年十一月	116
630	五町手永会所官銭等のしらべ	天保二年十一月	119
631	本庄手永会所官銭請払差引帳	万延元年正月	121
632	田迎手永会所御用銭運用の覚	弘化二～文久三年	123
633	御惣庄屋口米の覚	(宝暦八年)十二月	130
634	御惣庄屋知行配知の取扱いについての覚	天保十三年	133
635	田迎手永御惣庄屋申継ぎの覚	天保十年九月	135
636	本庄手永御惣庄屋御知行引渡差紙	(嘉永五年)子九月廿四日	137
637	本庄手永十禅寺村御惣庄屋知行田畑見図帳	嘉永五年子九月	138
638	本庄手永十禅寺村御惣庄屋知行高・人畜帳	嘉永五年子九月	140
639	御惣庄屋退役時の心付けについての覚	(文化九年)五月	142
640	手永会所における献立	嘉永六癸丑年	144
641	手永会所役人心得の条々	文政八年六月廿八日	151
642	在牢番人心得の条々	文政十一年二月五日	153
643	田迎会所役人給米・口米・引高	天保十二年八月	155
644	飽田・託麻諸口抜米見締役	(文政九年)十月十八日	157
645	在御家人御奉公付	宝暦十三年未ノ正月吉日	158

## 第三節 農地と水利

史料番号	表題	日付	頁
646	慶長九年八王寺村検地帳	慶長九年九月	170
647	慶長十三年鹿子木町検地帳	慶長拾三年八月三日	172
648	寛永十四年新土河原村地撫帳	寛永拾四年七月十二日	181
649	宝暦九年池田手永小島村田畑下名寄帳	宝暦九年卯十二月	185
650	宝暦十年横手手永蓮台寺村田畑下名寄帳	宝暦十年辰四月	196
651	明和六年五町手永田畑地引合改一紙帳	明和六年丑五月	200
652	天保七年八王寺村地推再地引合下名一紙帳	天保七年申八月	204
653	鰥寡孤独御救恤備新地など御見聞の覚	文政五年	208
654	御側御開築立総費用書上げ	文政十年亥十二月	212
655	御側新地内古閑才右衛門拝領地坪付帳	文政十一年子五月	215
656	銭塘手永武拾町村海辺新地築立積帳	天保十一年十二月	216
657	池田手永井芹村御普請方御用石切場広め方一件	寛政元年	224
658	渡鹿懸り三井手筋田畝数しらべ	文化十年五月	228
659	濁水につき白川下流域よりの分水願	文政六年五月	231
660	白川分水について大津手永異議申立て	文政六年六月	232
661	緑川筋・加勢川筋普請の願	嘉永五年八月	234
662	緑川水利方の願	文久三年・慶応元年・明治三年	240
663	天明新川井樋積番増給米の願	安政四年十二月	243
664	石塘積の通船仕法替の覚	文化三～安政六年	246

## 第二章 村と村役人

## 第一節 村の機能

史料番号	表題	日付	頁
665	本庄手永寺社・御家人ならびに五ヶ村組合帳	天保十四年卯四月	249
666	池田郷中島村諸帳面・絵図・諸官物調帳	明治三年午九月	255
667	田迎手永村々諸入目銭しらべ	天保十一年子九月	268
668	横手手永古町村・宮寺村分村の願	寛政十年十月	279
669	本庄手永上南部村地方書上げ	天保三年辰十一月	280
670	五人組御仕法書	(年月日欠)	306

## 第二節 村役人

史料番号	表題	日付	頁
671	寄せ村につき庄屋引高増し方の願	安永二年	312
672	本庄手永上南部村肝煎給取立て一件	文化六年・七年	313
673	本庄手永戸島村北向庄屋の交代	慶応三年六月	319
674	本庄手永村々庄屋の交代	慶応三年九月	319
675	銭塘手永上・下海氏村馬原空助庄屋任命の差紙	(安政元年)寅二月十九日	321
676	馬原空助庄屋兼勤の差紙	明治三年正月十八日	321
677	本庄手永小山村村役人・村人八十人謹責	(文政十二年)六月十一日	321
678	田迎手永下無田村百姓ほか入牢申渡し	(天保四年)	323

## 第三節 村の戸口と身分

史料番号	表題	日付	頁
679	池田手永井芹村人畜・竈改帳	天保十二年丑七月	325
680	五町手永村々生業しらべ	弘化四年十二月	341
681	会所影踏不参につき申上げ	安政二年正月	346
682	池田手永砂原村宗門改め影踏人数帳	文久二年戊正月	347
683	諸郡村人数離れについての達	文化十二年・文政元年・(天保四年)	361
684	横手手永村々他支配の面々無願にて居住の者書上げ	文政十二年丑三月	362
685	薩州様方参勤・下国の節在御家人出勤度数のしらべ	天保十四年三月	367
686	馬医次右衛門療治の村々馬数書上げ	天保十四年二月	368
687	岡田三英・今村梅元療治患者数のしらべ	嘉永七年二月	369
688	本庄手永上南部村平七病弱により鍼術稽古の願	安政二年十二月	370
689	寸志御賞美の基準	文化十年酉十二月控	372
690	田迎手永寸志一件	享和元年	384
691	池田手永小島町塩物商の者共捨方寸志	天保三年十一月	393
692	在御家人小倉出陣連れ人	元治元年十月	397
693	八ヶ所地筒	寛政十一年五月	399
694	七ヶ所地筒大砲隊組合せ	(明治二年)正月廿一日	400

## 第三章 農業と諸産業

## 第一節 農業

史料番号	表題	日付	頁
695	江戸流行の早稲糊種子渡し	(宝暦七年)二月廿八日	404
696	朝鮮稻取実の覚	宝暦十二年九月	404
697	種子糊・綿実試作の覚	明和四年三月	405
698	糊種子浸し方の覚	(天明六年)午三月	411
699	和州糊種子試作の覚	慶応三年十月	411
700	西洋種大麦・小麦試作の覚	文久二年五月	412
701	本庄手永産出の大小豆	慶応元年九月	414
702	尾張宮重大根作付けの覚	(享保十二年)八月四日	415
703	賄物所御用の品々買上げの覚	明和四年三月	416
704	献上御用の白芋根差出しの覚	明和五年正月	417
705	諸所御休所へ植付けの品々	明和五年・六年	418
706	玉藍一巻	文化五年辰七月	422
707	進上御用白芋茎仕立ての覚	安政三年十一月	425
708	おらんだ煙草苗仕立て方の覚	安政四年閏五月	426
709	ホリト草栽培の仕法	安政五年二月	427
710	鯨油一件旧記書抜	明和三年～文化二年	428
711	五町手永村々鯨油拝借の願	明和六年七月	444
712	寸志の油糟配当帳	万延元年申十月	446
713	不浄船建造費拝借の願	文政四年八月	447
714	田畑諸作収納気候の覚	嘉永五年子正月	449
715	預馬殖し方の仕法	文化十三年三月	454
716	本庄手永村々当春縄夜なべのしらべ	安政四年巳四月	459

## 第二節 諸産業

史料番号	表題	日付	頁
717	保田窪地鉄炮組松山仕立ての覚	宝暦十一年十一月	461
718	五町手永嶽村御留山植林の覚	(宝暦十一年)二月	462
719	立田御山杉・檜間伐の覚	(明和七年)寅七月	463
720	池田・横手手永御山植立て木数の覚	文化二年二月	465
721	春竹村松右衛門ほか杉苗仕立て	天保十五年辰四月	467
722	諸郡築・釜・瀬張・縄場の仕法	明和五年九月五日	468
723	御築・御用瀬張落ち鮎の覚	(明和六年)九月	470
724	御苔場・御建川役人勤め方の覚	寛政十年九月	470
725	波瀬場についての覚	(文政七年)十月	473
726	養蚕栽桑同治法要略教諭	宝暦十三癸未年	474
727	櫛方年中行事	文化九年申九月	484
728	松尾焼上野家諸達帳	文政十二年丑二月	525

## 第三節 在町と出小屋

史料番号	表題	日付	頁
729	小島津口・近国の米価しらべ	弘化三年午正月	541
730	小島町旅船増加策	嘉永二年	545
731	在中商売物の覚	貞亨四年五月	548
732	在中・出小屋商売許可の品々	文化十年閏十一月廿四日	550
733	本庄手永本庄村百姓作兵衛ほか出小屋願	(享保十三年)四月	551
734	本庄手永村々出小屋のしらべ	天保十四年卯四月	553
735	田迎手永商札御免の者の名付け	寛政八年辰ノ三月十二日	558
736	横手手永上白石村熊本商札心得	文政二年四月	559
737	池田手永小島町平蔵麴本手願	文化二年九月	559
738	村々質屋利銭の覚	天保十四年二月	560

## 第四章 村の生活と農業経営

## 第一節 村の生活

史料番号	表題	日付	頁
739	御国中御惣庄屋寄合頭書	文政十一年	565
740	御惣庄屋千葉城会談の覚	天保十三年正月	574
741	御百姓心得方についての達	天保十四年正月	583
742	御郡目附付横目廻に見聞の覚	(安政四年)	595
743	横手手永村々百姓高分けの願	文政十二年五月	601
744	田迎手永竹宮外村百姓新屋敷の願	文政十三年正月	602
745	本庄手永本庄村柿洗製造の申請	宝暦十一年	604
746	日雇稼ぎ願い出の覚	文政六年四月	608
747	馬口労札譲渡の願	明和三年八月	608
748	本庄手永九品寺村水車水勢分量についての願	慶応四年七月	609
749	田迎手永砂取町船場について申上げの覚	寛政五年・文化元年	612
750	田迎手永村々仏壇改め	文政七年六月	614
751	若者組についての達	寛政十一年未十一月	627
752	伊勢参宮の願	文化四年正月	628
753	讃岐金毘羅参宮往来手形	弘化五年二月	629
754	横手手永・銭塘手永村々雨乞いの出し物	(天保三年)辰八月	629
755	田迎神社宮座の覚	寛文八年申九月	632
756	在中芝居興行の節、在御家人出役の覚	明和四年	634
757	本庄手永小山村瓦師勘左衛門芝居興行の願	享保十二年	638
758	竹宮座若者共芸者札の願	文政八年	639
759	田迎手永竹宮西外村手遊びの者始末書	嘉永六年十月	641
760	御府中近郷野葬地の覚	(文政七年)九月	642
761	捨子の覚	天保八年五月	643
762	講帳	文政十三年寅六月	643
763	奉公人給銭の覚	天保十四年十月	645
764	本庄手永十禅寺村における打擲一件	文政三年辰十月	646

## 第二節 農業経営

史料番号	表題	日付	頁
765	御百姓一人の作徳差引と田一反作り方の手間	午十月	647
766	五町手永梶尾村入百姓仕立ての覚	天保十一年	652
767	身代潰れ百姓取扱いの仕法	正徳三年・宝暦七年・慶応三・同四年	665
768	百姓高請けについて請書仕上げ	天保十四年二月	674
769	田畑恩米受取帳	天保七年申十一月	675
770	下作米仕出帳	天保七年申十月	685
771	凶作につき恩米引き方のしらべ	天保十四年十一月	689
772	永代売渡し状	貞享三年十二月	696

史料番号	表題	日付	頁
773	四ヶ年限りの質地証文	宝永二歳西十一月十三日	697
774	七ヶ年限りの質地証文	享保十八年十二月	697
775	無年限の質地証文	宝暦元年十二月	698
776	上ヶ高証文	元文四歳未正月	699
777	上ヶ地証文	寛延三年午正月	700
778	永代譲渡し証文	明和七年寅二月	700
779	上ワ米不埒について口上の覚	天保十二年二月	701
780	家賃入れ証文	文化十一年十一月	702
781	身請け証文	文化四年卯三月	703
782	借用証文	嘉永三年戌七月	704
783	年限未済の質奉公	元治二乙丑年二月九日	704
784	御礼奉公の証文	慶応二丙寅年二月九日	705

### 第三節 村の記録

史料番号	表題	日付	頁
785	銭塘手永貳町村の記録	正徳二年～文政十二年	707

## 第五章 年貢と負担

### 第一節 御蔵納の仕法

史料番号	表題	日付	頁
786	東西御蔵の仕法	慶応四年辰三月	750
787	給知分の御蔵別納入高と郡書上げ	(元禄三年)午十一月廿日	777
788	熊本御蔵入手永別の俵数書上げ	安政五年	778
789	熊本御蔵入願の村々	寛保三年亥九月	779
790	津端御蔵納村々へ申渡しの書付	(明和八年)卯五月	780
791	津端御蔵納の太米	天明二年・(文化四年)	785
792	津端御蔵の三杯枘改正	文化六年八月	787
793	新三杯箱の寸法	文化七年八月	789
794	津端御蔵納について試しの仕法	文化九年八月	791
795	本庄手永村々年貢米の刎俵	嘉永六年十一月	792
796	大坂御登米の俵拵えについての覚	(明和七年)二月	794
797	津端御蔵納の小麥請高割増しの覚	(明和七年)九月	795
798	川尻御蔵新規建て方の覚	弘化三年	799

### 第二節 年貢納入

史料番号	表題	日付	頁
799	請免取立ての覚	文化五～八年	805
800	在中上ヶ米の覚	(文化五年)三月十四日	830
801	五町手永上ヶ米立払いの願	文化七年	832
802	御年貢庭帳取扱いについて御惣庄屋の書付	文政五年	835
803	御年貢取立ての請書	安政三年十月	851
804	増水夫米御蔵納め方の覚	文化元年	852
805	反懸米上納の覚	(明和九年)三月	855
806	田迎手永御蔵納年貢皆済目録	天保十年十二月	856
807	本庄手永御蔵納諸取立て算用帳	天保十四年七月	860
808	本庄手永御給知方諸取立て算用帳	天保十四年七月	865
809	本庄手永御郡方新地年貢諸上納算用帳	天保十四年七月	866
810	銭塘手永太米請高	文化五年閏六月七日	868
811	五町手永御蔵納・御給知御足米糶反割増帳	天保七年申十月	869
812	五町手永御蔵納・御給知粟反別帳	天保七年申十月	872
813	本庄手永西無田村請免下り米	文化六年八月	876
814	御年貢米穀納め方の節在中出し方の覚	(明和九年)七月	880
815	御蔵預証文の再発行願	明和九年七月	882
816	田迎手永竹宮村ほか三ヶ村胡麻の上納	明和二年九月	883
817	飽田・託麻両郡へ飼馬料大豆の割賦	安永五年二月廿日	885
818	横手手永菜種子請の願	文化元年	885
819	飼鳥御用の小黍上納の達	文化十年十一月	890
820	銭塘手永村々昨年歩入拝借の穀類残り現有高	天保三年七月	894
821	横手手永村々米穀買上げ並びに歩入受返し分	天保七年十二月	900
822	池田・横手・田迎手永徳懸の試し例	寛政十年	903
823	御損引の要領	文政十三年二月	910
824	銭塘手永御損引下り米のうち一部返納願	文政十一・十二年	912

### 第三節 運上と夫役

史料番号	表題	日付	頁
825	参勤御用銀御郡方よりの調達	寛延二年	919
826	御帰国小倉路人馬賃銭の郡別割賦	(寛政四年)	933
827	飽田・託麻両郡の野開き運上銀等代銭納入願	寛政十二年十月	936

史料番号	表題	日付	頁
828	池田手永諸運上銀等の上納	文化元年十二月	938
829	御国中諸運上銀のうち櫛方会所納入分	嘉永三年	958
830	津口・陸口出入りの諸品運上帳	天明八年九月廿九日	961
831	諸職業の者運上銭の覚	(明治三年)庚午十月	967
832	作事所御用の家萱・縄代割賦	明和七年閏六月	969
833	長六橋ほか所々橋懸け費用の割賦	(文化元年)子六月	970
834	江戸荒仕子の郡別割当て	天保七年正月十八日	972
835	水夫役割割当て	寛永十一年・宝暦七年	973
836	水前寺御茶屋掃除夫の割当て	延享三年六月	978
837	銭塘手永諸出人馬のしらべ	天保二年十一月	980
838	本庄手永諸出人馬のしらべ	天保二年十一月	981
839	田迎手永諸出人馬のしらべ	嘉永三年戊七月	982
840	知行所よりの諸払い物負担の覚	嘉永七年・慶応四年・安政三年	987
841	小倉詰夫の帰着届	慶応二年	990

## 第六章 災害と飢饉

### 第一節 災害と村の零落

史料番号	表題	日付	頁
842	銭塘手永沖古閑村源次郎日記	(享保十六～十九年)	1004
843	用心苗の覚	明和四年七月	1006
844	島原眉山崩壊と津波の襲来	寛政四年	1008
845	津波につき上納減免の願	寛政四年七月	1016
846	津波につき作馬代拝借銀の延納銀	寛政七年	1017
847	五町手永櫛方拝借銀一件	寛政六・七年	1020
848	五町手永近津村災害復旧拝借銀の延納願	寛政十年	1027
849	坪井川洪水の節助勢者への心付け	(寛政十二年)	1033
850	五町手永村々百姓共大風被害のしらべ	天保十四年十一月	1037
851	五町手永陣内・津浦両村櫛方拝借銀の延納願	享和四年	1039
852	本庄手永上下小山村・長嶺村離散者しらべ	(天保七年)申十一月	1041

### 第二節 備荒・救恤

史料番号	表題	日付	頁
853	御困糶の囲い方	天保十二年十一月	1044
854	本庄手永村別御困糶粟蔵入帳	文政十三年寅十二月	1045
855	飽田・託麻六手永の窮民しらべ	天保七年十一月	1048
856	御家中・在中拝借銀取扱いの仕法	文化十一年	1064
857	大風倒家につき手永御用钱拝借願	文政十一年・天保九年	1067
858	水害所糧物代などの渡し方	(天保二年)	1069
859	横手手永水害村々糧物拝借の人数	天保二年九月	1072
860	五町手永山方開明運上銀の救恤備繰入れ	文化十二年十二月	1072
861	五町手永壺歩半米・荒地起米御備高より拝借願	文化十三年三月	1072

平成10年3月30日発行